

参議院秋田県
選出議員選挙

選挙公報

令和元年7月21日執行
秋田県選挙管理委員会

NHKから 国民を守る党 NHKを ぶっ壊す!

1枚目の投票用紙
お住まいの選挙区のNHKから国民を守る党の候補者の名前をお書きください。

2枚目の投票用紙
NHKから国民を守る党とお書きください。

令和元年執行
参議院(秋田県選出)議員選挙投票票

候補者氏名
石岡隆治

令和元年執行
参議院(比例代表選出)議員選挙投票票

候補者氏名
NHKから国民を守る党

NHKから国民を守る党はNHKスクランブル放送の実現に向け国の中心から変えていくため全国から立候補しています。

「テレビがない」「NHKをみてない」でも支払いの義務が発生します!!!

来年からインターネットでもNHKが視聴できるように国会で決定しました。



NHKから国民を守る党
石岡 隆治

すべては秋田県民の目線に立って

- 年金・医療・介護**
安心して年を重ねられるよう、持続的な年金制度への改革を急ぎます。医療、介護従事者の待遇改善、制度の見直しにより、隙のない医療・介護体制を構築します。
- 地域経済**
中小企業が個性や可能性を存分に発揮できるよう、社会保険料負担の軽減により正規雇用を増やし、事業承継政策の拡充により事業の継続を支援します。
- 子育て・教育**
保育・教育・社会的養護の各分野を底上げし、社会全体で全ての子どもを育ちを支援します。高等教育の無償化・奨学金の拡充によって子どもたちの可能性を広げます。
- 憲法**
改憲をすること自体が目的化するのではなく、強い危機感を覚えます。地方分権に関する改憲議論はよいと考えますが、9条の改正は必要ありません。
- 農林水産業**
安心して営農できる戸別所得補償政策を復活させ、家族型農業もしっかりと応援します。産業面のみならず「地域政策」としての農政を重視し、農村を守ります。
- 消費税**
秋田の景気は回復しておらず、10%に引き上げる環境は整っていません。むしろ、人口減少が進む地域は特例的に減税するなど、柔軟な対応が必要と考えます。
- エネルギー**
東日本大震災の教訓を忘れず、再生可能エネルギーや省エネ等の技術開発の促進によって、原発に頼らない電力確保を実現します。
- イージス・アショア**
秋田市新屋地区への配備に強く反対します。防衛政策以前の大前提として、住宅地・学校などの目の前にミサイル基地の新設を許すことはできません。



▲5歳の息子と近所の公園にて

これまでの歩み
横手市生まれ、44歳。横手南中学校卒業。横手城南高校中退後、大検取得、育英会の奨学金を受け早稲田大学入学。卒業後、東京大学生産技術研究所勤務。この間、不登校だった自らの経験もありフリースクールにてボランティアを務める。その後、米国に留学。帰国後、

政治は誰のためにあるのか

高齢者が不安を抱えている街を、幸せな街と云えるでしょうか。子どもたちの姿が消えていく地域に、確かな未来はあるのでしょうか。私自身、自らの不登校や高校中退、祖父の会社の倒産による経済的な苦勞、植物状態を経て20歳で旅立った弟の介護、奨学金の返済、仕事や子育てなどの経験を通して、秋田と日本が抱える課題について考えてきました。立候補にあたって、結婚4年でもうやく授かった我が子と毎日をもっと楽しんで過ごしたいという気持ちもありましたが、「子育てに没頭していたら、いつの間にか原簿がたかさんできていた」と悔やむ母の言葉を聞いて、「今やなければ、いつか子どものためにきつと後悔する」と思いました。地域が高齢化し、農業は厳しい状態におかれ、イージス・アショアの候補地になっている秋田。育児や介護の問題はいつも女性が負わされ、防衛や原発の問題は子どもたちに降りかかります。政治は、誰のためにあるのでしょうか。本当に助けるべき人々を考えれば、答えは自ずと見えてきます。産まれた時から障がい、怪我や病気で失業、介護、介護による離職、ひとり親家庭の経済的な苦勞、虐待、子どもの貧困、不登校……。多くの困難が、人生の歩みのなかに、そして私たちのすぐそばにあります。また、誰もが年を重ねれば、耳が遠くなり、足腰が弱り、少しずつ不自由を抱えていきます。そうしたことのつひつひとつひとつひと手がかかるのべられる社会でなければ、誰も安心して暮らすことはできません。秋田には本当に多くの課題がありますが、諦めてしまえば、何も変わらないどころか、もっと悪い状態の秋田を子どもや孫世代に手渡すこととなります。諦めからは、何も生まれません。ひとりの県民として、ひとりの母親として、生活の不安や悩みの切実さを知るひとりの女性として、生まれ育った秋田を守りたい。子どもも高齢者まで、すべての世代を包み込み、今日より明日がよくなると思うことが、できる社会をつくりたい。当たり前に安心して暮らせる毎日こそが、豊かな未来を育てていくと信じています。



てらたしずか

社会資本

災害に強い国づくりと 地方を支えるインフラ整備

近年脅威を増す自然災害に対して、3カ年の緊急対策を実施し、災害に強い国づくりを早急に進めると共に国民の生命・財産を守るために必要な重要インフラの整備を着実に進めます。また自動走行などAI・IoTといった新たな技術を地方でこそ活用し、安心して暮らせる地域づくりを進めます。

社会保障

「人生100年時代」と 「二億総活躍社会」に向けて

人生100年時代を見据え、幼児教育・保育の無償化と高等教育の負担軽減・教育環境の充実を進めると共に、健康寿命の延伸により誰もが健康に年を重ねることできる、全世代型の社会保障制度を構築します。また障害・病気の有無や年齢・性別に関わらず誰もが生きがいをもち、一億総活躍社会を実現します。

農林水産業

「攻める農業」と「守る国益」 による農政推進

効率化・集積化による農業所得向上を目指す「産業政策」と、中山間地域等で農林水産業を生業にすることで豊かな自然を守る「地域政策」を車の両輪とした農林水産政策を推進します。またグローバルな社会にあっても貿易交渉の面で守るべき国益は断固として守り抜き、力強い農林水産業を実現します。

経済

「実感の持てる経済再生」を地方から

地方経済の主役である中小・小規模事業者に対して生産性向上に向けた支援を徹底すると共に、事業承継等への支援により地域の持続可能性を高め、地方でも実感の持てる経済再生を進めます。また風力や地熱といった秋田の特性を活かしたエネルギー政策を進め、新たな分野での経済の活性化を実現します。

なかいずみ 4つの重点施策

なかいずみ 松まつじ

つなげよう、未来へ。

全力で頑張ります。

みなさまの力を貸して下さい。

沖泉 松まつじ



自民党公認
なかいずみ
松まつじ

●プロフィール 1979年5月7日(40歳) 秋田市下新城生まれ。農家の長男として育つ。
1998年 秋田県立秋田高校 卒業
2003年 中央大学商学部 卒業
参議院議員斎藤道宣事務所 勤務

2011年 秋田県議会議員 2期目当選
2013年 参議院議員 当選(34歳)/参議院農林水産委員会委員/自由民主党青年局長
2018年 自由民主党政策調査会副会長/自由民主党国土交通部会副会長
参議院自由民主党政策調査会副会長/参議院国土交通委員会理事

HPIはこちら

参議院秋田県
選出議員選挙

選挙公報

令和元年7月21日執行
秋田県選挙管理委員会

この一票で輝く未来 令和の時代

未来への扉は、自分で開く。

～子どもと一緒に選挙に行こう～

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。
総務省が18～20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票についていったことのある人は、ついていったことがない人よりも、投票に行った人の割合が高いという結果が出ています。
親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。



第25回 参議院議員通常選挙

令和元年

投票日

7月21日

期日前／不在者
投票期間

7月5日(金)から7月20日(土)まで

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧になるか、各市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会

秋田県選管

検索